

C協働学習（C2）

主な学習活動

グループで話し合いながら物語の構想を広げ、共有場所に意見を書き込む。

1 本時のねらい

具体的に想像を広げ、想像したことから書くことを選んで、物語の大まかな内容を考えることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

文書作成

ファイル共有

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

共有ホワイトボードを使って意見を出し合うことにより、自分のグループだけでなく他のグループの話し合った内容もいっしょに確認することができる。

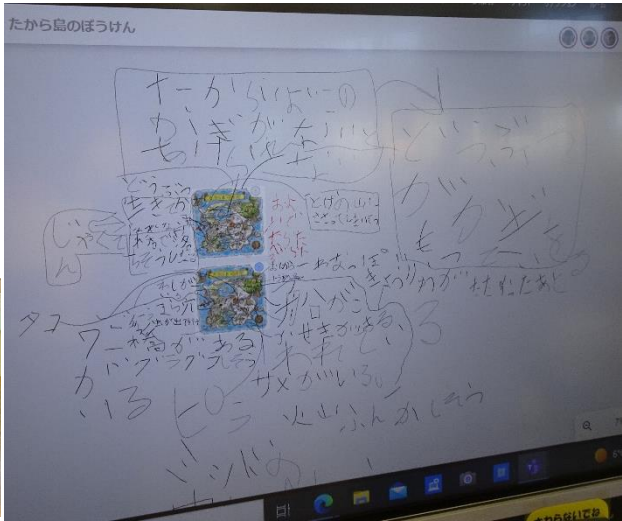
段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	たから島の地図を見て、出会う動物や出来事を話し合う中で出てきたアイデアを地図上に書き込む。	児童の発表を教師が模造紙の地図に書き込むというこれまでのスタイルから、児童が地図上にアイデアを直接書き込むことにより、情報が新鮮なままどんどん地図に書き加えられることが可能になる。発表までの待ち時間もなく、すべての児童の考えが共有でき、たくさんのアイデアの中から自分に合った出来事や出会う動物を選択することができる。

タブレット

+

電子黒板

こんなアイデアは
どうかな？



4 活用効果

授業前のアンケートで文章を書くのが苦手と答えていた児童がいたが、話し合いのアイデアを出したり、共有画面のアイデアを確認したりすることで、すべての児童が楽しそうに物語の構成を考え、自分のノートに出会う動物や出来事を書き込むことができた。